

質 疑 応 答 書

工事名 仙台市役所本庁舎整備第 1 期 建築工事

	整理番号	2 3 0 5 1 0 5 9 5
質 問 事 項	回 答	
(構造関連)		
(本庁舎)		
図番 A-03 新增築工事特記仕様書-1 の 3. 土工事において、建設発生土の処理は構外搬出とございますが、一般土（汚染土は除く）の処分費の計上は不要又は別途と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。	
図番 S-102 基礎伏図のマットスラブレベルが伏図記載レベルと特記なき 2 番のレベルとで下記のように相違しています。伏図記載レベルを正と考えて宜しいでしょうか。 ●右斜め斜線範囲 ・伏図記載レベル FL-800、-2350 ・特記なき限りレベル FL-1800 ●クロス斜線範囲 ・伏図記載レベル FL-3570 ・特記無き限りレベル FL-2850	よろしいです。	

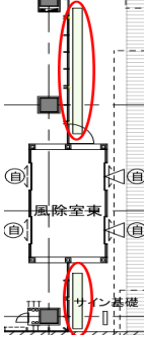
<p>図番S-301</p> <p>マットスラブリストにおいて、マットスラブ Y方向(下端筋) X5~X6+6000/Y7+3600~Y8+3600範囲のマットスラブ符号が下記のように相違しています。記載符号Bを正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載符号 B ・図示(右下斜線) C 	<p>記載符号Bを正としてください。</p>
<p>図番S-102</p> <p>基礎伏図、地下1階伏図において、せん断補強筋の記載がございます。ピッチが特記なき5番と逆になっていると思われます。伏図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伏図 濃いオレンジ範囲：150ピッチ、薄オレンジ範囲：300ピッチ ・特記無き限り 濃オレンジ範囲：300ピッチ、薄オレンジ範囲：150ピッチ 	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-104, 303</p> <p>X0/Y2-5及びX0+6500/Y1-5通りの柱符号及び柱位置が、下記のように相違しています。地下柱芯線図の柱符号・柱位置が正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>例. X0/Y2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下柱芯線図 C3 ・免震装置配置図 位置ずれC1 	<p>よろしいです。</p>

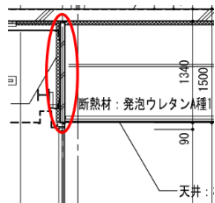
<p>図番S-102, A-081・529</p> <p>B1階 地下通路のスラブ天端レベル(スラブ符号S800 X9+12.055/Y2-Y3)が下記のように相違しています。床レベルは意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造図(地下1階伏図) B1FL-3278 ・意匠図(低層部コア詳細図-3) B1FL-2270 	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-111・A-023・055</p> <p>R階及びPH1階平面図において、屋根に水勾配1/100がございますが、伏図ではスラブ勾配の記載はございません。スラブ及び鉄骨梁は水勾配なりのレベルと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>スラブ勾配は、鉄骨梁上にCTなどでかさ上げ材を設けてください。 ※勾配は平面図のとおりとなります。</p>
<p>図番A-197</p> <p>各平面詳細図に記載の設備基礎寸法Hは一般部分詳細図より仕上天端レベルからのH寸法と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番S-13</p> <p>RC標準図14.(3)設備基礎において、設備基礎TYPEが複数ございます。使い分けは下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備基礎$H \leq 150$ (a) TYPE A ・設備基礎$H > 150$ (b) TYPE A ・屋外設備基礎$H \leq 600$ (c) TYPE B ・屋内設備基礎$B \leq 300$ (d) TYPE B 	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-097</p>	<p>よろしいです。</p>

<p>3階平面詳細図において、消火設備室内（左側中央部分）に1000×1000程度の設備基礎が3300×400×H600×5と記載があります。1000×1000×H600×2と読み替えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番A-123 R階平面詳細図において、Y7-8/X2-5範囲に機械基礎寸法の記載がない機械基礎が4か所ございます。W1000×D200×H600×4ヶ所と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-209 一般部分詳細図-14において、スチールメッシュフェンス基礎がありますが、配筋は下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主筋 D19@200 ・フープ筋 D13@100 ・頂部横筋 D13@200 	<p>下記としてください。 柱主筋：D16@200 以下 フープ筋：D10@100</p>
<p>図番A-048 矩計図-4において、1FLのY1通りに舗装受けのRCアゴがありますが、配筋は下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦筋D10@200 ・先端補強筋2-D13 	<p>契約後別途協議といたします。</p>
<p>図番S-202・314・A-030 鉄骨柱リスト-1において、階高が軸組図及び意匠断面図等と相違しています。下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4~14FL-4400→4300（正） ・RFL~PH1FL-4900→4500（正） ・PH1FL~PH2FL-4450→4900（正） 	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-045~056</p>	<p>別添3を参照ください。</p>

外壁の下地鉄骨や屋外の下地鉄骨が必要な場合、範囲・鋼材・配置（ピッチ）をご指示下さい。	位置寸法については、矩計図等を参照ください。
(勾当台公園地下駐車場耐震改修)	
図番A-526 壁補強詳細図において、コンクリート強度はFc27と記載がありますが、スランプが不明です。S18と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
図番A-518・528-2 RC壁撤去でコンクリート研り範囲が、下記のように相違しています。平面図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・平面図 開口幅+600（片側） ・壁補強詳細図 開口幅+250（片側）	A-526 B1 階 1 通り鉄筋コンクリート造壁補強詳細図を正としてください。
図番A-518 改修後の平面図において、2重壁下部RC立上りH200の配筋はタテヨコD10@200ダブルと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。端部筋はD13としてください。
(東側及び西側ダクトトレンチ)	
図番A-522・527 掘削開始レベルは、新庁舎1FL-500（断面図の地盤面）からと考えて宜しいでしょうか。	1FL-620mm (TP+44.98m) としてください。
図番A-527 新設換気塔排気ダクト部詳細配筋図において、コンクリート強度はFc24と記載がありますが、スランプが不明です。S18と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
図番A-522・527	よろしいです。

<p>ダクトトレンチの寸法及びコンクリート厚が平面・断面図と詳細配筋図で相違しております。詳細配筋図の寸法を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>(例：一部) 地下駐車場接続部 壁厚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面・断面図 t 300 ・詳細配筋図 t 450 (W 45) 	
<p>(東側及び西側棟屋)</p>	
<p>図番A-519</p> <p>R階(地中屋根)平面図の改修後において、RCスラブ(t250)新設は、Fc24・S18(高性能AE減水剤)と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-519・524</p> <p>新設RCスラブの厚さが下記のように相違しています。配筋図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修図 t250 ・配筋図 t400 	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-524</p> <p>1階部分略伏図(新設スラブ範囲図)において、D13及びD19のあと施工アンカーの定着長さは400mm程度と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>D13については、L=455 D19については、L=700 としてください。</p>
<p>(外部)</p>	
<p>図番A-018・051・102・103</p> <p>矩計図-7(基準階-1)の高層C部矩計図(東面・Y8-9間)の外調機置場において、点検歩廊の記入がありますが、平面図及び平面詳細図では範囲の記入がありません。建築工事となる場合は仕様・詳細・範囲図をご指示下さい。</p>	<p>契約後別途協議といたします。</p>
<p>図番A-05・A-086~125</p> <p>B1~PH階平面詳細図において、記号凡例</p>	<p>よろしいです。</p>

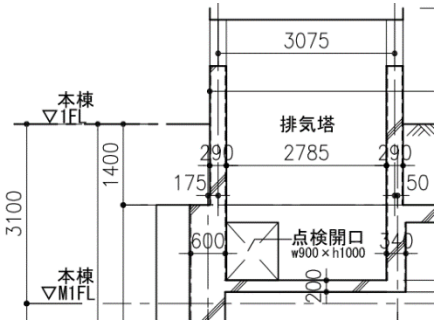
<p>に縦樋 アルミ製と記載があります。建屋内を通る縦樋は特記仕様 13 章屋根及びとい工事に○印がある配管用鋼管とし防露巻きを施すと考えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番 A-045 矩計図-1 において、1 F 床のアスファルト防水層に B I-1 の記入がありますが、B-1 に読み替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番 A-045 上記質疑に関連して、1 F 床に B I-1 の範囲がある場合は範囲をご指示下さい。</p>	<p>該当なしとなります。</p>
<p>図番 A-014 1 階平面図において、1 階屋根付き広場床、X 6 通/Y 1-2・3-4 間サッシ前に基礎の様な記載がありますが、詳細が不明です。ご指示下さい。</p>  <p>The diagram shows a cross-section of a building's 1st floor. It features a roofed area (広場床) and a window (サッシ) with a foundation (基礎) indicated below it. Red circles highlight the roof structure and the foundation area, corresponding to the inquiry about the foundation details.</p>	<p>別途工事としてください。</p>
<p>図番 A-047 矩計図-3、低層棟 1・2 階、サッシ上部天</p>	<p>ALC t100 素地としてください。 ※加えて発泡ウレタンA 種3 t70 吹付と</p>

<p>井内壁は、ECP素地と考えて宜しいでしょうか。</p> 	<p>なります。</p>
<p>図番A-002・050・052 4-15Fバルコニーの軒天のアルミ複合板張りにおいて、下記のように相違しています。矩計図-6・8を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矩計図-6・8 ケイカル板 t8 あり ・外部仕上 ケイカル板なし 	<p>A-002 外部仕上表・内部仕上表-1 を正としてください。</p>
<p>図番A-045 低層棟2階Y2通りから跳ね出した軒天井に直固定金物の記載がありますが、仕様・詳細Eが不明です。ご指示下さい。</p>	<p>桐井製作所「アジャストソエル」同等品以上としてください。</p>
<p>(内部)</p>	
<p>図番A-014 1階平面図にマシンハッチの記載がありますが、仕様・詳細が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>別添4を参照ください。</p>
<p>図面-A-002・081-1・529 階段室東の壁仕上で内装タイルとございますが、タイルの仕様は、地下鉄地下連絡通路の倣い内装タイル2 磁器質タイル45×90 LIXILインテグレートブリックタイルと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。 ※参考品番のため、同等品以上としてください。</p>
<p>図面A-057 A-202/D-53 一般部分詳細図-7において、D-53 S</p>	<p>L=1,000 としてください。</p>

<p>K 棚において、モップ掛けがございますが、寸法の記載がございません。中央コア詳細図-1B 1 階 S K につくモップ掛けは L 7 0 0 と考えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番 A-008・122 R 階通路 R-2 壁仕上において、下記のように相違しています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕上表 ビニルクロス ・平面詳細図 E P-S i 	<p>A-122 R 階平面詳細図-1 を正としてください。</p>
<p>図番 A-009・050 外壁 LW8 において、下記のように相違しています。エレメント図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エレメント図：GB-R-H t 12. 5 + GB-R t 9. 5 ・矩計図：GB-R-H t 9. 5 + GB-R t 12. 5 	<p>よろしいです</p>
<p>図番 A-53・54 矩計図 9 と矩計図 10 において、天井ウレタン吹付の t70 と t100 の図示がありますが範囲、使い分けが読み取れません。15F 天井のウレタン吹付の t70 と t100 の範囲をそれぞれご指示下さい。</p>	<p>屋根スラブ下部の天井面は t100 としてください。 ※t70 は誤記となります。</p>
<p>図番 A-002・209 秋保石において、厚みが下記のように相違しています。一般部分詳細図-14 を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般部分詳細図-14・・・t10 ・内部仕上表-1・・・t25 	<p>A002 外部仕上表・内部仕上表-1 を正としてください。</p>
<p>図番 A-085・135 トイレ 2-2(男)・(女)の下り天井の位置が</p>	<p>よろしいです。</p>

天井伏図とトイレ詳細図とで相違しておりますが、トイレ詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	
<p>図番A-011・S-102</p> <p>平面図において、X4-5/Y8通りに排水槽の記載がございませんが、基礎伏図より排水槽は必要と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
<p>上記質疑を正とする場合、下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床 セメント系塗膜防水 ・壁 セメント系塗膜防水 ・天井 あらわし ・マンホール 1か所 ・タラップ 	よろしいです。
<p>図番A-003</p> <p>2階風除室において、靴ふきマットの記載がありますが、仕様・寸法・メーカー品番が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>ミヅシマ「Clic-19 ニードルパンチタイプ」同等品以上としてください。</p> <p>※範囲は風除室全面となります。</p>
<p>図番A-182～187-5</p> <p>建具詳細図に記載の無い建具のブラインドボックスの寸法をW120×H150 糸巾660と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
<p>図番A-003</p> <p>2階会議室2-2-1～3の仕上表備考欄に『プロジェクター吊下地』の記載がありますが、材種・詳細図が不明です。ご指示下さい。</p>	契約後別途協議といたします。
<p>図番A-004・A-094</p> <p>2階通路2-6の仕上表備考欄に『カウンターキッチン』の記載がありますが、図面上見</p>	A-208 一般部分詳細図-13のD-110をとしてください。

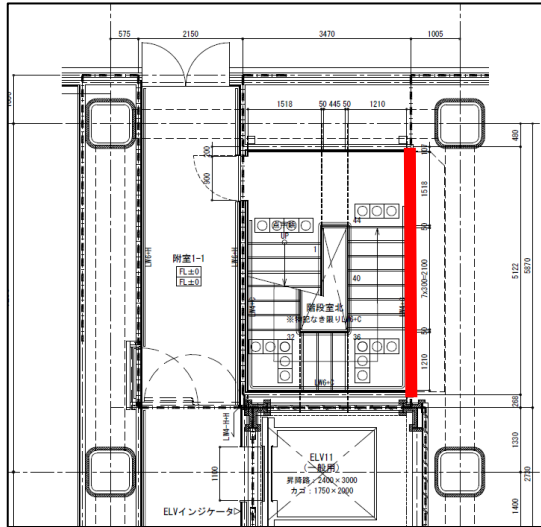
<p>ガラスの記載がございません。建具表を正としAW-2F-01'はフラッシュ戸と考えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番A-165 SD-2F-23において、仕上はフッ素樹脂焼付塗装となっておりますが枠仕上も同様と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>会議室側：化粧三方枠:SUS FB-60×9 HL、 シャフト内：SOP としてください。</p>
<p>図番A-165 下記の建具の仕上は天然木練付化粧板または化粧けいカル板となっております。枠仕上はSOPと考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SD-2F-24 ・ SD-2F-25 ・ SD-2F-26 ・ SD-2F-27 	<p>下記としてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SD-2F-24, 25 : 倉庫側を SOP とし、反対側を化粧三方枠:SUS FB-60×9 HL としてください。 ・ SD-2F-26, 27 : トイレ側を化粧三方枠:SUS FB-60×9 HL とし、シャフト内を SOP としてください。
<p>(附属建屋)</p>	
<p>図番A-522 東・西側ダクトトレンチ内の仕上について、下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 床：ウレタン樹脂系防塵塗床 ・ 幅木：ウレタン樹脂系防塵塗床 H100 ・ 壁：コンクリート打放補修仕上 ・ 天井：コンクリート打放補修仕上 	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-190 緊急排水槽の地中外壁部分に防水等の記載はございませんが、ダクトトレンチと同様に『超速硬化型ウレタン塗膜防水』を見込むものと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>ダクトトレンチについては誤記のため、いずれも地中外壁防水はないものとします。</p>
<p>図番A-190 緊急排水槽の上部排気塔の1FL-2700上に点検床がございます。排気塔内の仕上</p>	<p>下記としてください。</p> <p>床：コンクリート直均し 幅木：なし</p>

<p>は接続する庁舎棟のRCダクトに倣い、下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床：防塵塗床 ・幅木：防塵塗床 H100 ・壁：コンクリート打放補修仕上 ・天井：コンクリート打放補修仕上 	<p>壁：コンクリート打放補修仕上 天井：コンクリート打放補修仕上</p>
<p>図番A-190 地下1階レベルにおいて、緊急排水槽～RCダクト接続部分のはね出し部分にEXP. Jの記載がございますが、仕様等の記載が見当たりません。地下部である事から、ダクトトレンチ接続部に倣い、下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部側：止水パッキン ブチルゴム製 (※図番A-522参照) ・内部側：防水可とう継手 (※図番A-522参照) 	<p>よろしいです。</p>
<p>図番A-190 オイルタンク基礎の地中外壁部分に防水等の記載はございませんが、ダクトトレンチと同様に『超速硬化型ウレタン塗膜防水』を見込むものと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>ダクトトレンチについては誤記のため、いずれも地中外壁防水はないものとします。</p>
<p>ご参考まで、公開数量書に記載されている本体鉄骨の部位別・階別数量書を開示いただく事は可能でしょうか。</p>	<p>契約後に提示いたします。</p>

<p>図番 A-130</p> <p>議場断面詳細図-3において、壁:GB-R t 12.5+9.5+無機系内装左官仕上材の記載がありますが、無機系内装左官仕上材の仕様が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>フッコー:FMX(フッ)同等品以上として下さい。</p>
<p>図番 A-028</p> <p>3階の外壁仕上げについて、下記のように相違しています。矩計図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立面図-4 (西) <li style="padding-left: 2em;">凡例 J: ALC フッ素樹脂塗装、 ・矩計図-5 ECP フッ素樹脂塗装 	<p>A-028 立面図-4 (西) を正として下さい。</p>
<p>図番 A-007・129・132</p> <p>内部仕上表-6 14Fカメラマン席・記者席の床仕上鋼製床組の記載がありますが、議場断面詳細図-2・-5より鋼製床組は不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番 A-352</p> <p>モックアップ範囲図がありますが、敷地内に設置と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>図番 A-404・409</p> <p>下記の貯留槽は、本工事と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東側貯留槽① ・東側貯留槽② ・南側貯留槽① ・南側貯留槽② <p>参考まで建築の公開数量書にも土木の工事数量総括表にも計上されていないようです。</p>	<p>別途工事として下さい。</p>
<p>図番 A-168</p> <p>SD共02において、建具表ではNP-6.8(網入り透明板ガラス)と記載があります</p>	<p>A-168 建具表-7 を正とし、契約後別途協議といたします。</p>

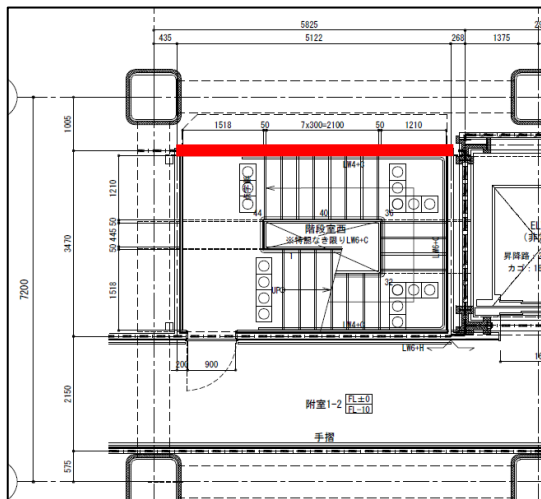
<p>が、特定防火設備なのでガラスは耐熱強化ガラス T8 と読み替えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>図番 A-26・161-1 AG15F-01 において、建具キープランに符号の記載はありますが、立面図に記載がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>W3300×H440 アルミ B-1 ホッパー : st-1.6 裏面グライト吹付 t3.0 としてください。</p>
<p>図面 A-161-6 下記の建具は AW4F-01、02、03、04 と取り合っています。建具 H 寸法を AW に倣って 2800 と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SD4F-12 ・ SD4F-13 	<p>いずれも建具表を正とし H=3100 としてください。</p>
<p>図面 A-161-6 下記の建具は AW5F-01、02 と取り合っています。建具 H 寸法を AW に倣って 2800 と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SD5F-25 	<p>いずれも建具表を正とし H=3100 としてください。</p>
<p>図番 A-008・122 R 階通路 R-2 床下地において、仕上表（コンクリート金鏝）と平面詳細図（鋼製床）で相違しています。仕上表を正としコンクリート金鏝の上ビニル床タイル A と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A122 R 階平面詳細図-1 を正とし、鋼製床 h=190 のうえビニル床タイル A としてください。</p>
<p>図番 A-071 北コア詳細図-1 1 階平面図において、下図部 階段室北 B 面は防火区画ですので、LW6 : 片面耐火間仕切に読み替えてよろしい</p>	<p>A071 北コア詳細図-1 を正とし、契約後別途協議といたします。</p>

でしょうか。



図番A-074

西コア詳細図-1 1階平面図において、下図部 階段室西A面は防火区画ですので、LW6:片面耐火間仕切に読み替えてよろしいでしょうか。



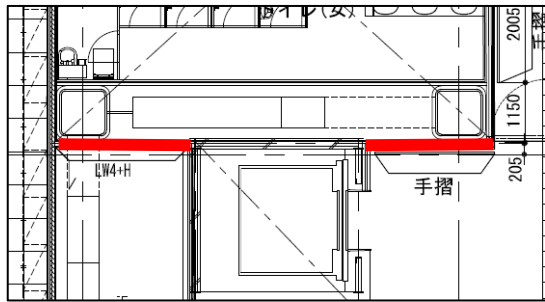
図番A-092

1階平面詳細図-1において、下図部 Y6/X4-5通りは防火区画ですので、LW6:片面耐火間仕切に読み替えてよろしいで

A074 西コア詳細図-1 を正とし、契約後別途協議といたします。

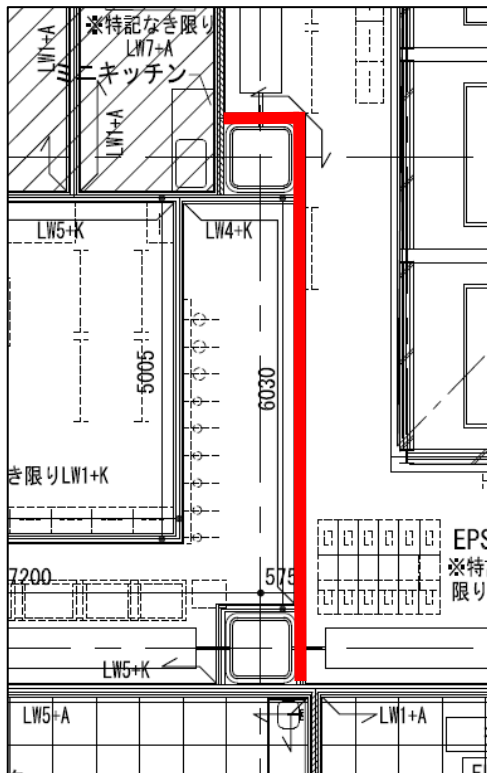
A092 1階平面詳細図-1 を正とし、契約後別途協議といたします。

しょうか。



図番 A-092

1階平面詳細図-1において、下図部 X4/Y4-5通りは防火区画ですので、LW5:耐火間仕切に読み替えてよろしいでしょうか。



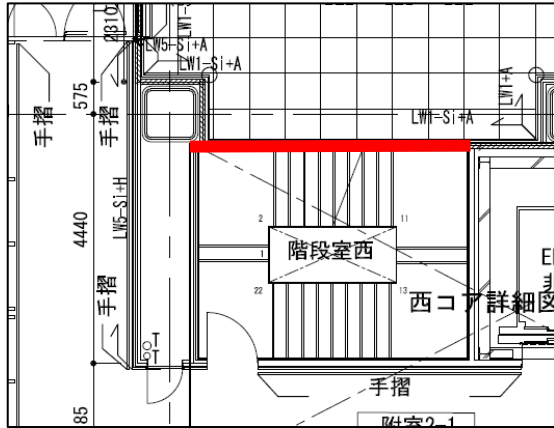
A092 1階平面詳細図-1を正とし、契約後別途協議といたします。

図番 A-075・094

西コア詳細図-2 2階平面図において、下図部 階段室西A面はSi:GW充填の記載がございますので、LW7:耐火遮音間仕切

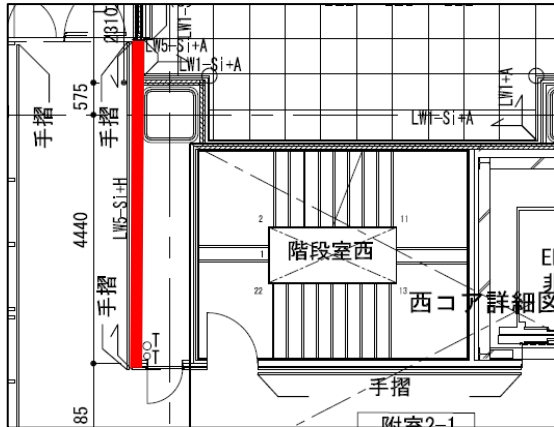
A092 1階平面詳細図-1を正とし、契約後別途協議といたします。

に読み替えてよろしいでしょうか。



図番A-094

2階平面詳細図-1において、下図部 X1/Y4'-5はLW5-Si:耐火間仕切+GW充填の記載がございますが、LW7:耐火遮音間仕切に読み替えてよろしいでしょうか。



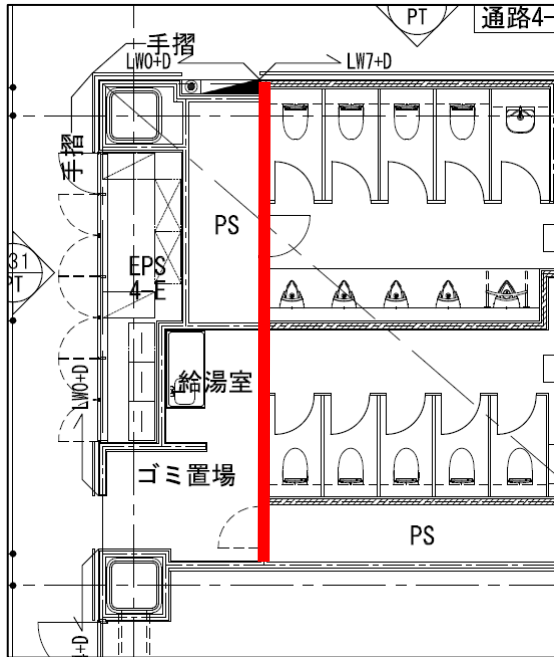
図番A-085

トイレ詳細図-2 (低層部)において、下図部 ひろびろトイレ2-2廻りはLW5-

よろしいです。

よろしいです。

7 : 耐火遮音間仕切に読み替えてよろしいでしょうか。



図番 A-111

10階平面詳細図-2において、下図部 執務室10-7B面はSi:GW充填の記載が

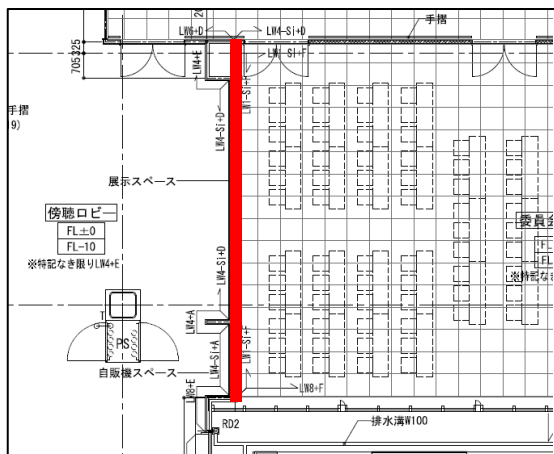
A1110階平面詳細図-2を正とし、契約後別途協議いたします。

ございますので、LW7：耐火遮音間仕切に読み替えてよろしいでしょうか。



図番A-120

15階平面詳細図-1において、下図部 委員会室15-1D面は防火区画ですので、LW7：耐火遮音間仕切に読み替えてよろしいでしょうか。



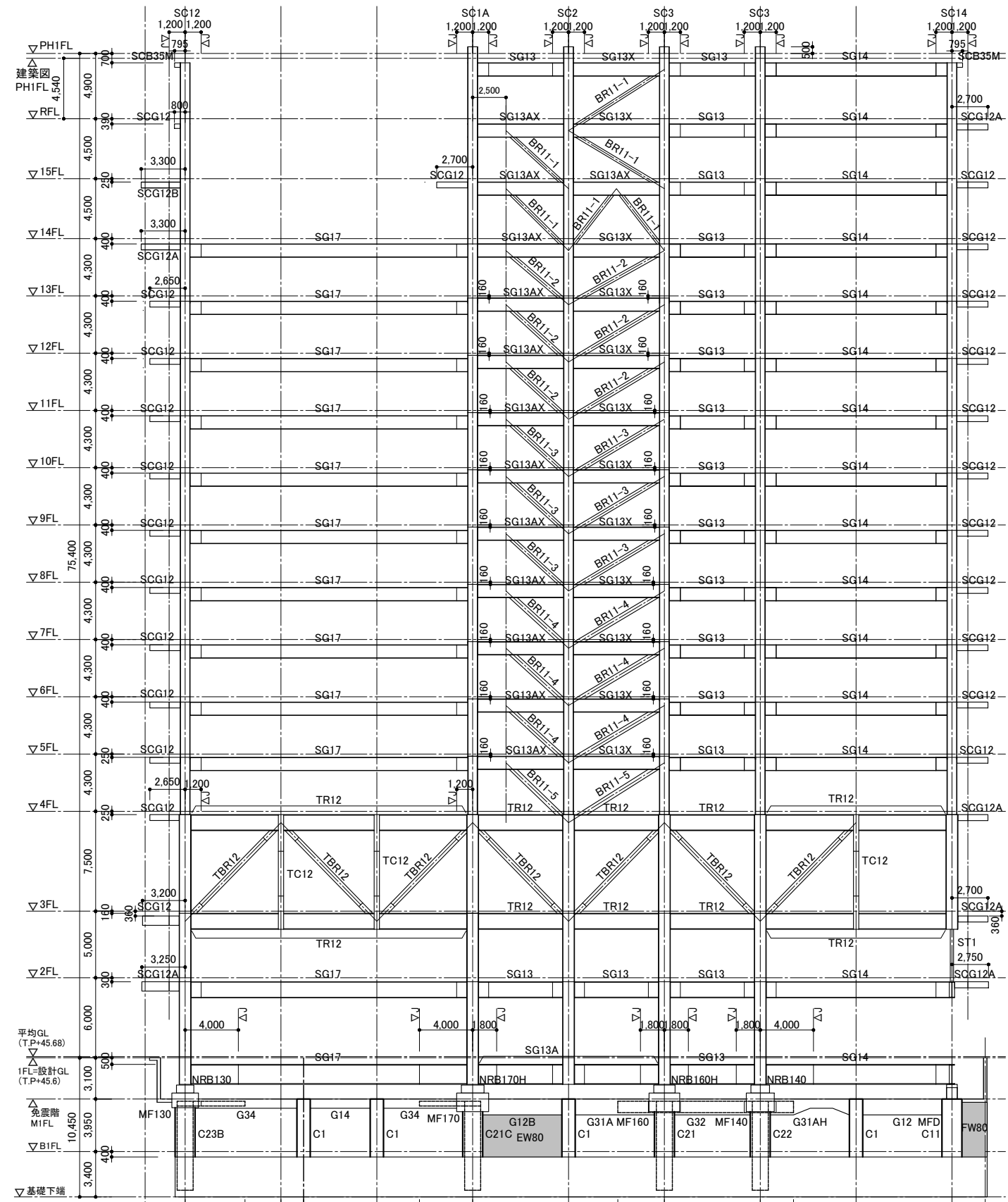
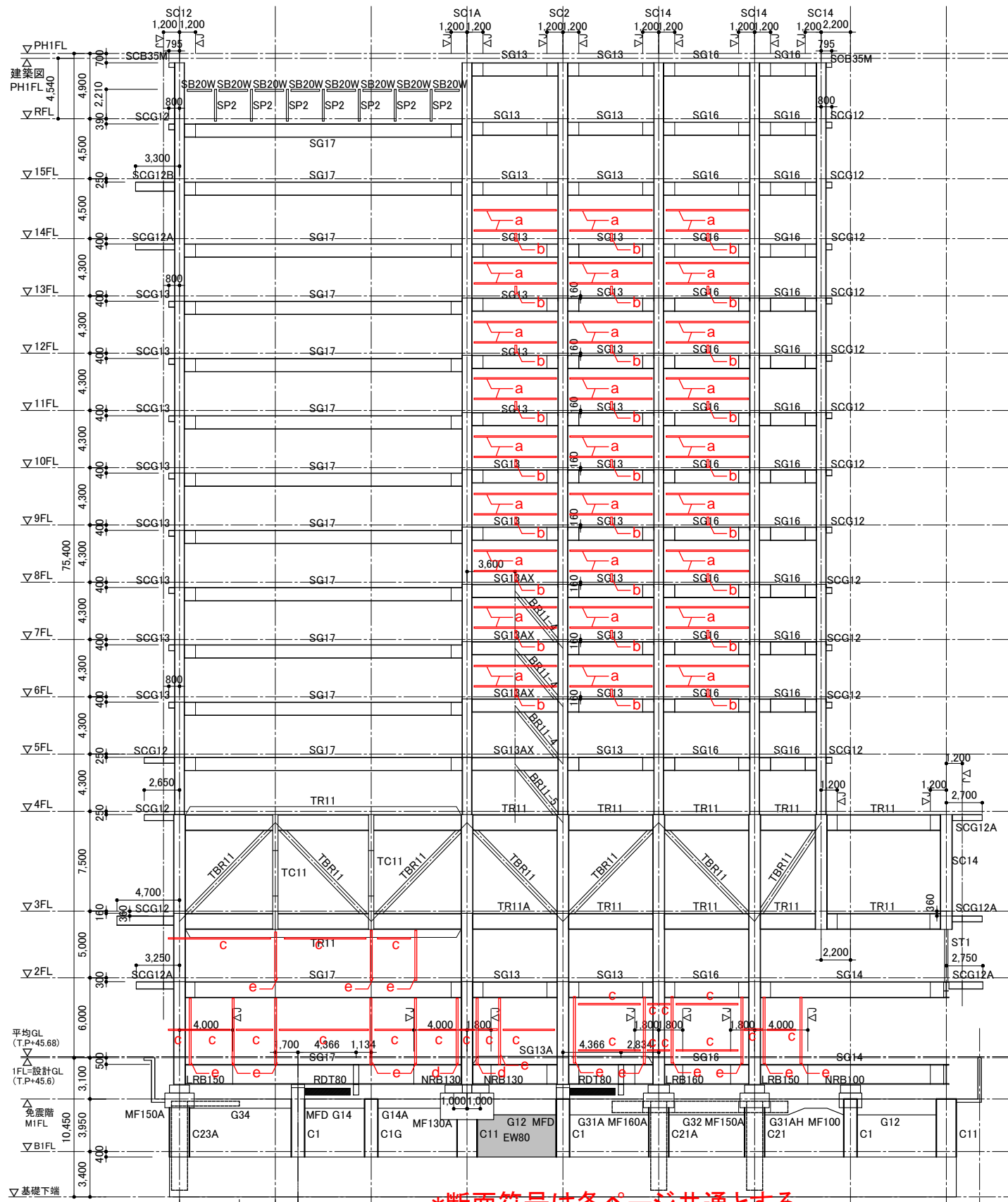
A120 15階平面詳細図-1を正とし、契約後別途協議いたします。

図番A-098~121

高層棟の壁化粧鋼板の範囲は、別図のように考えて宜しいでしょうか。

よろしいです。
中央コア ELV ホールについて、乗場がある側の壁面の仕上は「内装壁タイル」とな

	ります。
図番A-138 6～13階執務室 梁取合下地金物の範囲 は、別図のように考えて宜しいでしょうか。	窓際の梁型にも見込んでください。



*断面符号は各ページ共通とする。

- a : -175×175×12(STKR400) GPL-12 2-M20(F10T) 端部にGPLとして割PL-12を設けることとする。
- b : -175×175×6 (STKR400) GPL-12 2-M20(F10T)
- c : -200×200×12(STKR400) GPL-16 2-M20 (F10T)
- d : -200×200×12(STKR400) GPL-16 柱頭 : 4-M20(中ボルト) 鉛直ルーズ100mm 柱脚 : 2-M20(F10T) 端部にGPLとして割PL-16を設けることとする。
- e : -250×250×12(STKR400) GPL-16 柱頭 : 5-M20(中ボルト) 鉛直ルーズ100mm 柱脚 : 3-M20(F10T) 端部にGPLとして割PL-16を設けることとする。
- f : H-200×200×8×12(SS400) 本体側 完全溶け込み溶接 / c材との接合部 GPL-9 3-M20(F10T)

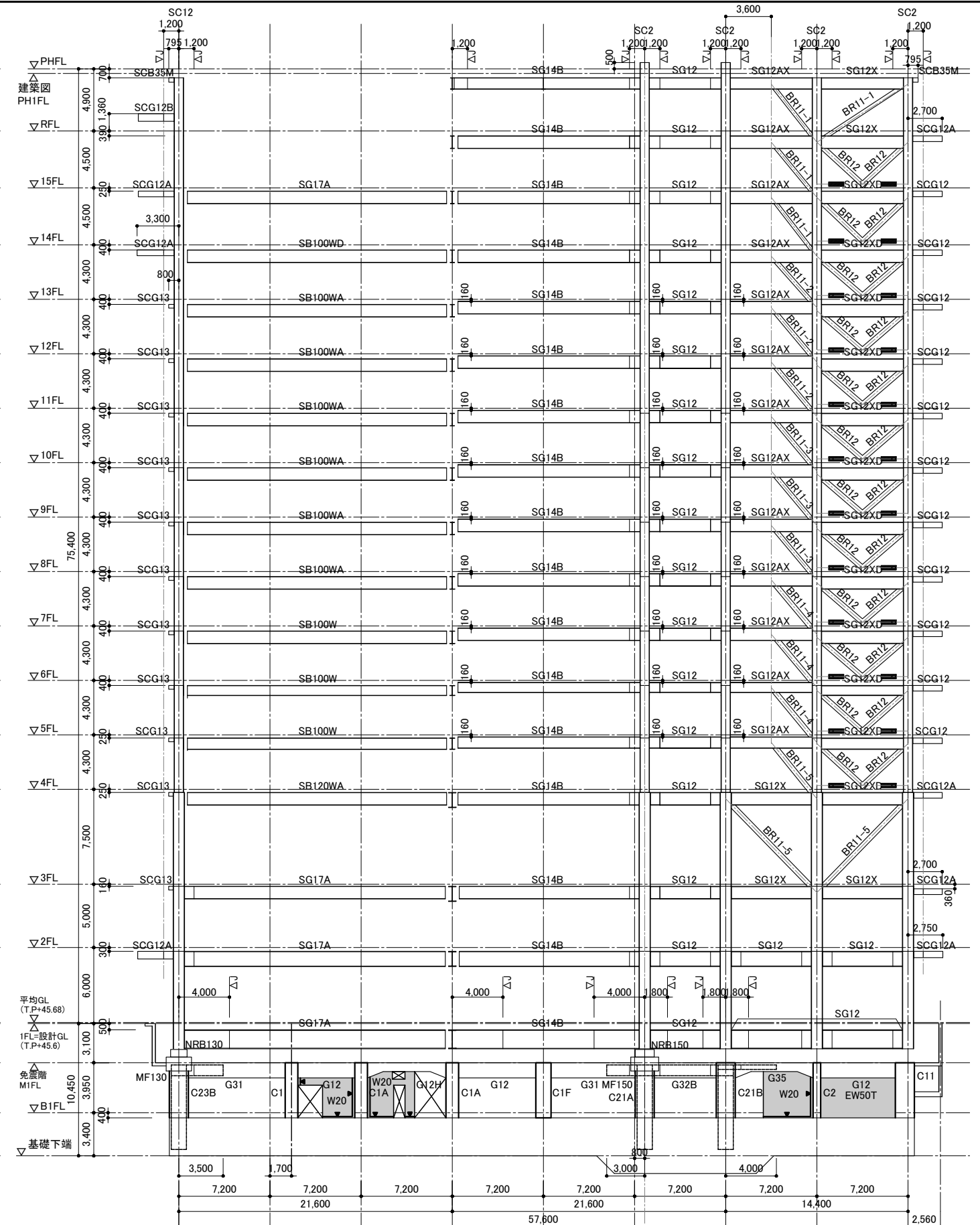
X1通り軸組図 1 : 200
 特記なき限り 1. 梁Jointは柱芯から1,200とする。1,200を基準としてJOINT位置
 2. 柱のJoint位置鉄骨柱リスト(S-314, 315)による。



X4通り軸組図

1 : 200

- 特記なき限り
1. 梁JOINTは柱芯から1,200とする。1,200を基準としてJOINT位置をブレース・小梁と干渉する場合は現場溶接もしくは監理者との協議の上、移動可能とする。
 2. Y4-Y7 PHFL 上部はヘリポート詳細図参照
 3. 柱のJoint位置鉄骨柱リスト(S-314、315)による。

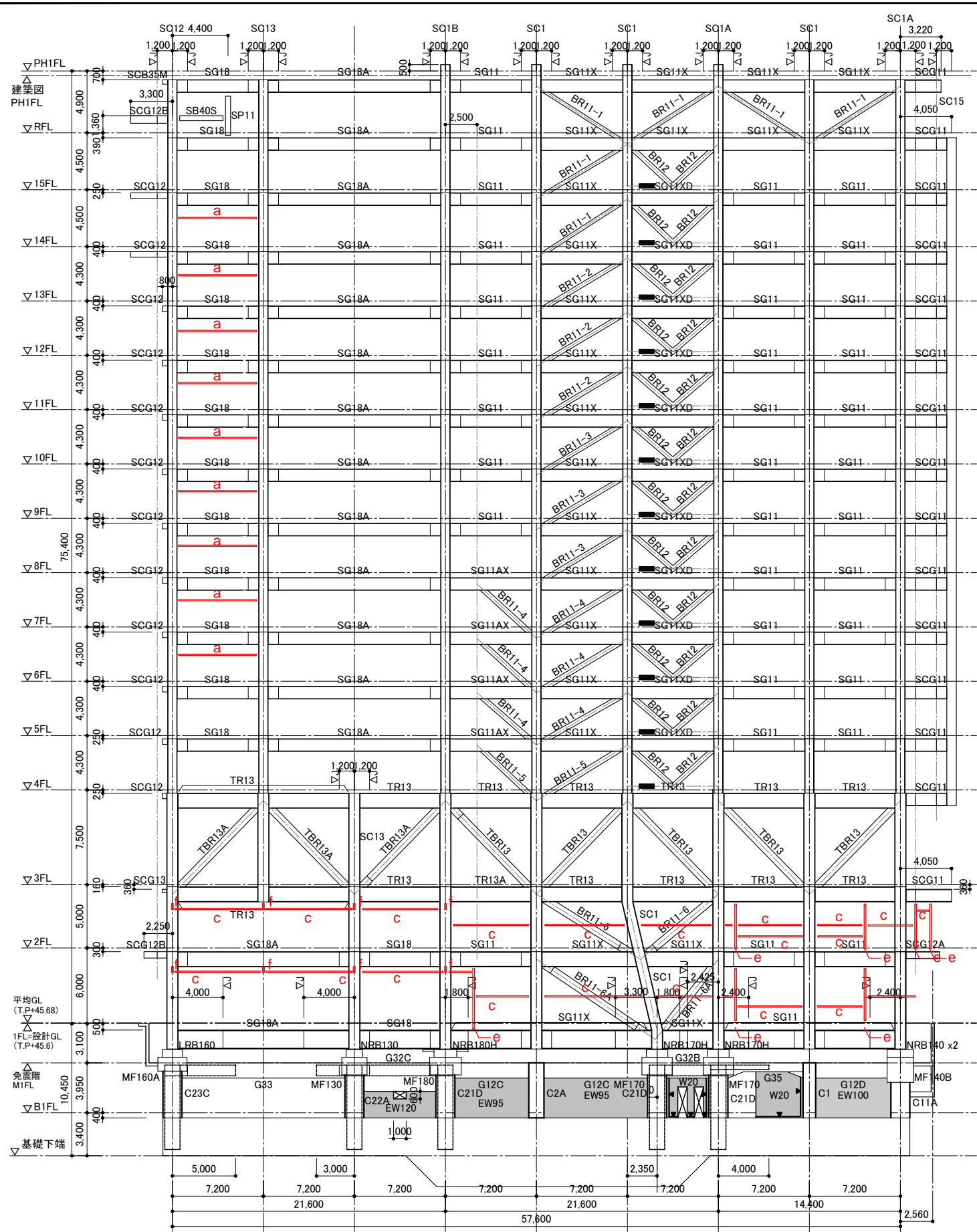


X5通り軸組図

1 : 200

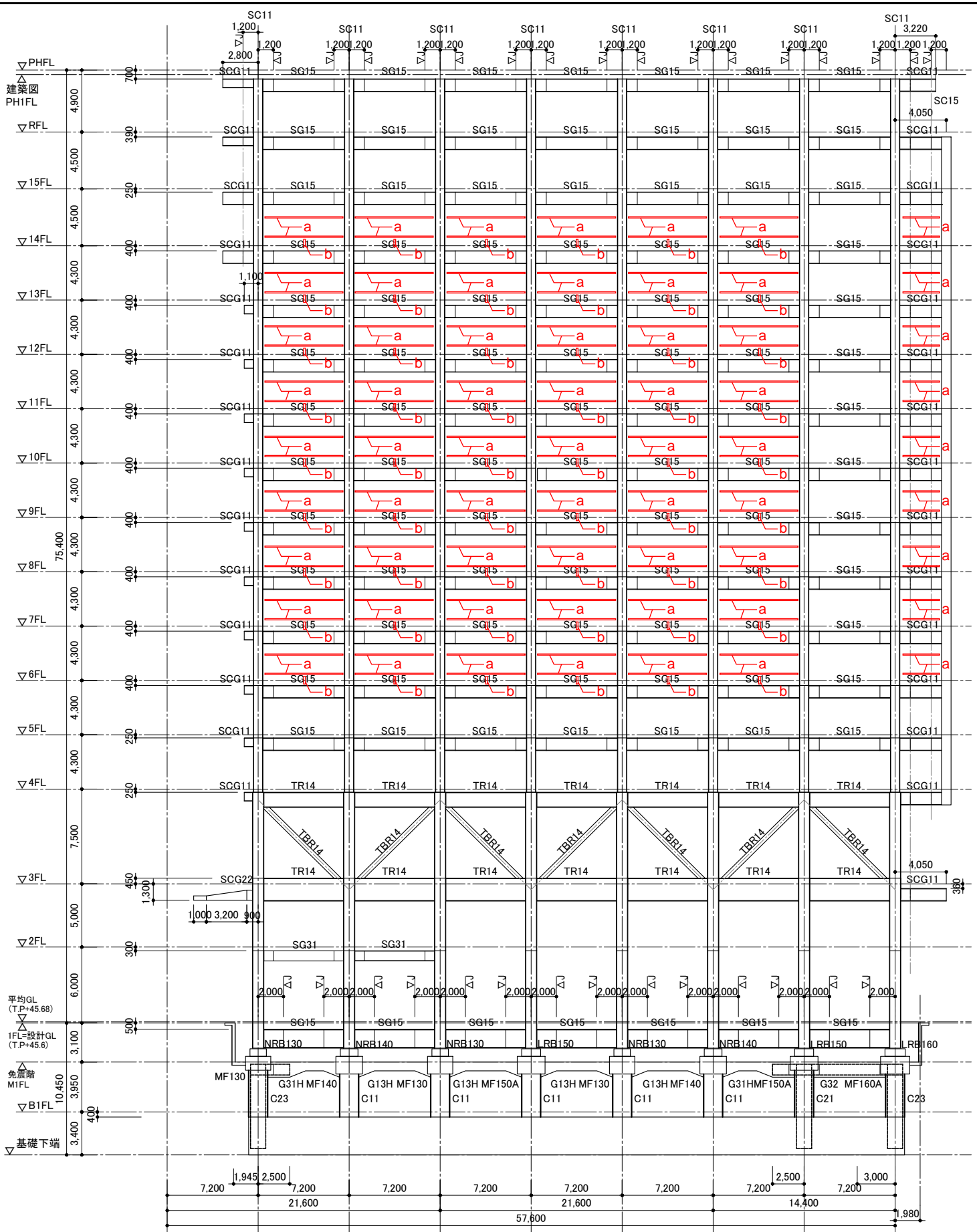
- 特記なき限り
1. 梁JOINTは柱芯から1,200とする。1,200を基準としてJOINT位置をブレース・小梁と干渉する場合は現場溶接もしくは監理者との協議の上、移動可能とする。
 2. Y4-Y7 PHFL 上部はヘリポート詳細図参照
 3. ■は、RDT200とする
 4. 柱のJoint位置鉄骨柱リスト(S-314、315)による。

特記事項	石本建築事務所・千葉学建築計画事務所設計共同企業体	仙台市都市整備局公共建築住宅部営繕課	件名 仙台市役所本庁舎	設計番号 -
	株式会社石本建築事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第793号 東京オフィス管理建築士 一級建築士 大臣登録 第341994号 中山 貴	設計年月日 令和 5年 7月 6日	図面名称 軸組図-3	縮尺 A1:1/200 A3:1/400
			図面番号 S - 203	



X6通り軸組図 1:200

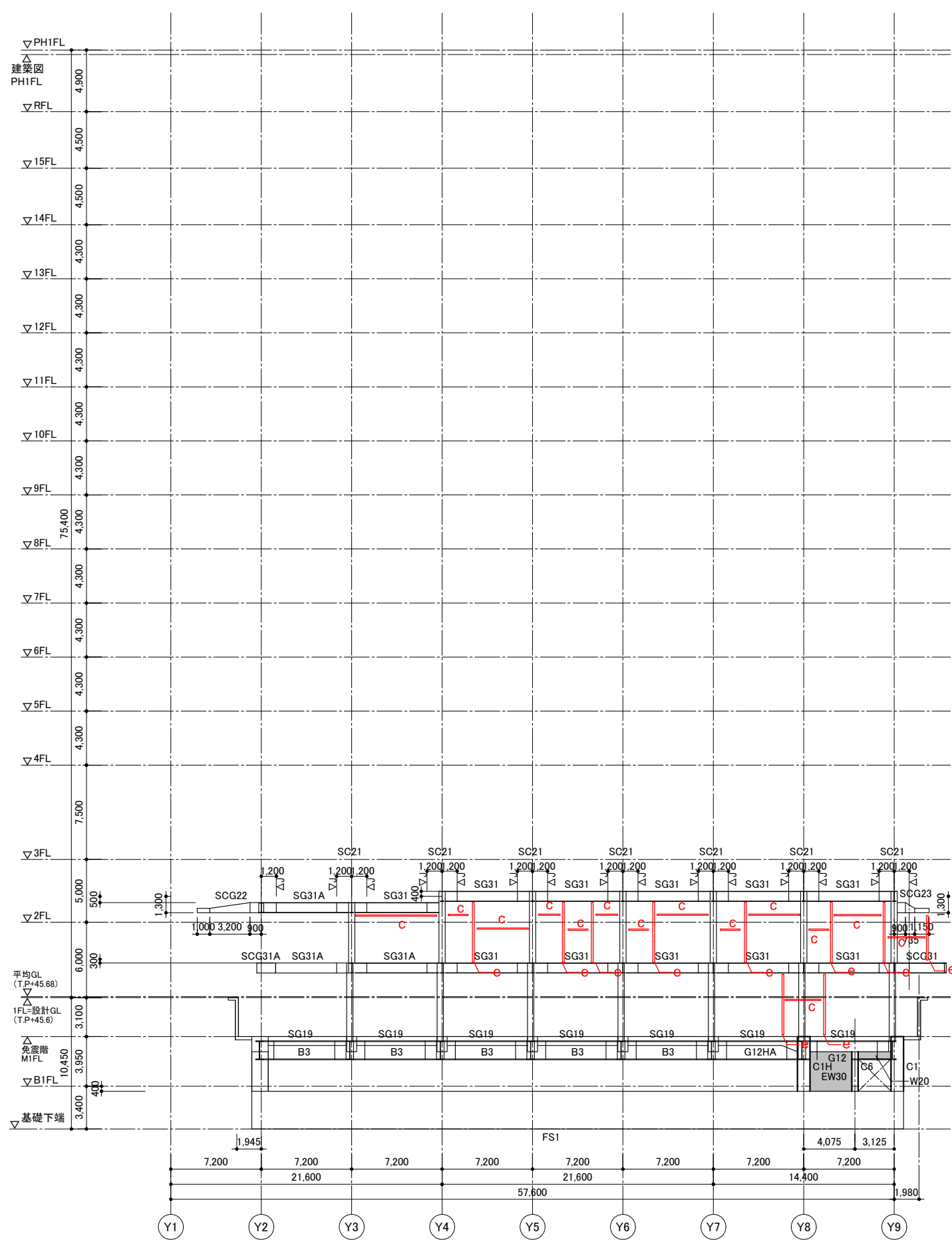
特記なき限り
 1. 梁JOINTは柱芯から1,200とする。1,200を基準としてJOINT位置をブレース・小梁と干渉する場合は現場溶接もしくは監理者との協議の上、移動可能とする。
 2. Y4-Y7 PHFL 上部はヘリポート詳細図参照
 3. ■は、RDT200とする
 4. 柱のJoint位置鉄骨柱リスト(S-314、315)による。



X7通り軸組図 1:200

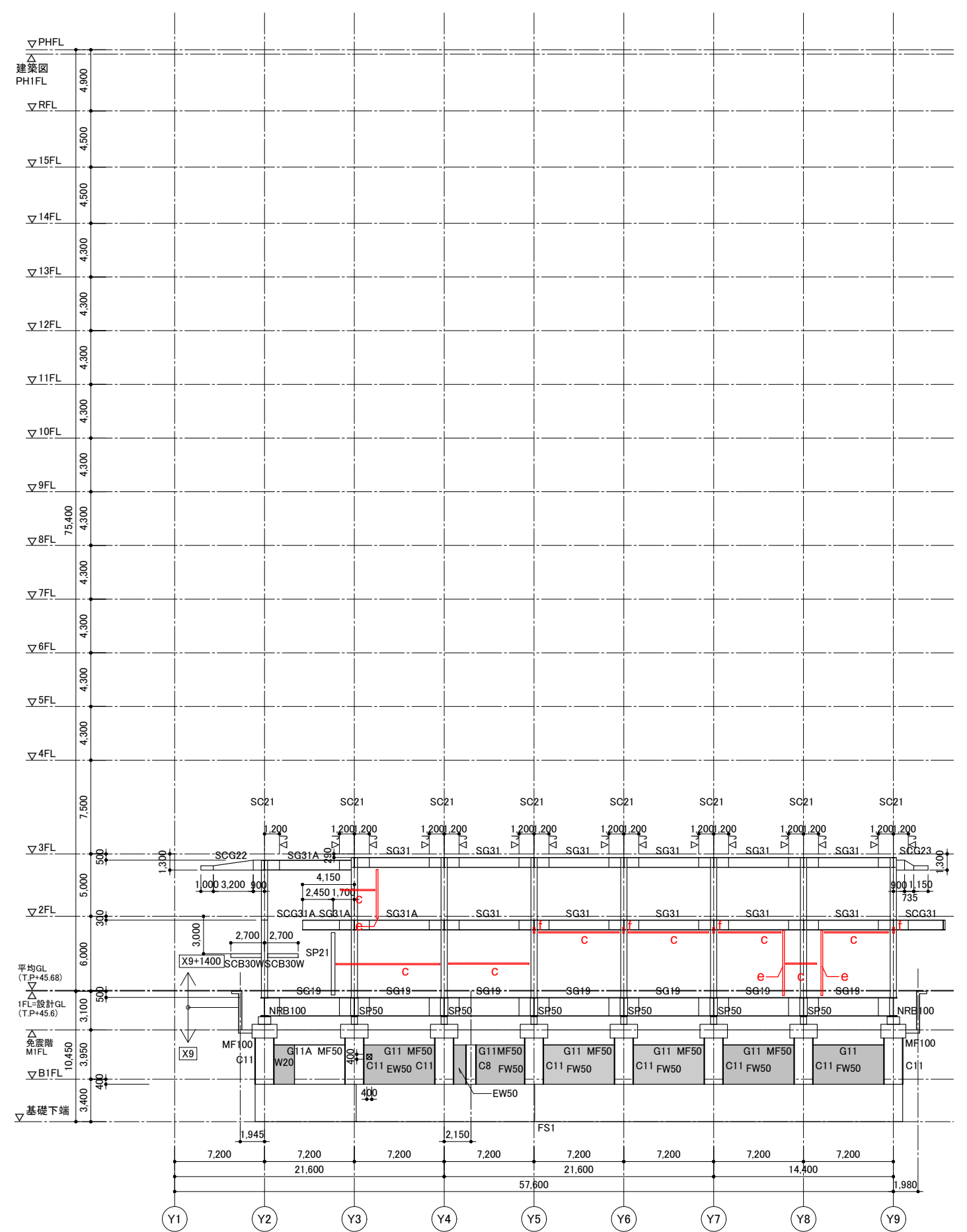
特記なき限り
 1. 梁JOINTは柱芯から1,200とする。1,200を基準としてJOINT位置をブレース・小梁と干渉する場合は現場溶接もしくは監理者との協議の上、移動可能とする。
 2. Y4-Y7 PHFL 上部はヘリポート詳細図参照
 3. 柱のJoint位置鉄骨柱リスト(S-314、315)による。

特記事項	石本建築事務所・千葉学建築計画事務所設計共同企業体	仙台市都市整備局公共建築住宅部営繕課	件名 仙台市役所本庁舎	設計番号 -
	株式会社石本建築事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第793号 東京オフィス管理建築士 一級建築士 大臣登録 第341994号 中山 貴	設計年月日 令和5年7月6日	図面名称 軸組図-4	縮尺 A1:1/200 A3:1/400
				図面番号 S-204



X7+5.300通り軸組図 1:200

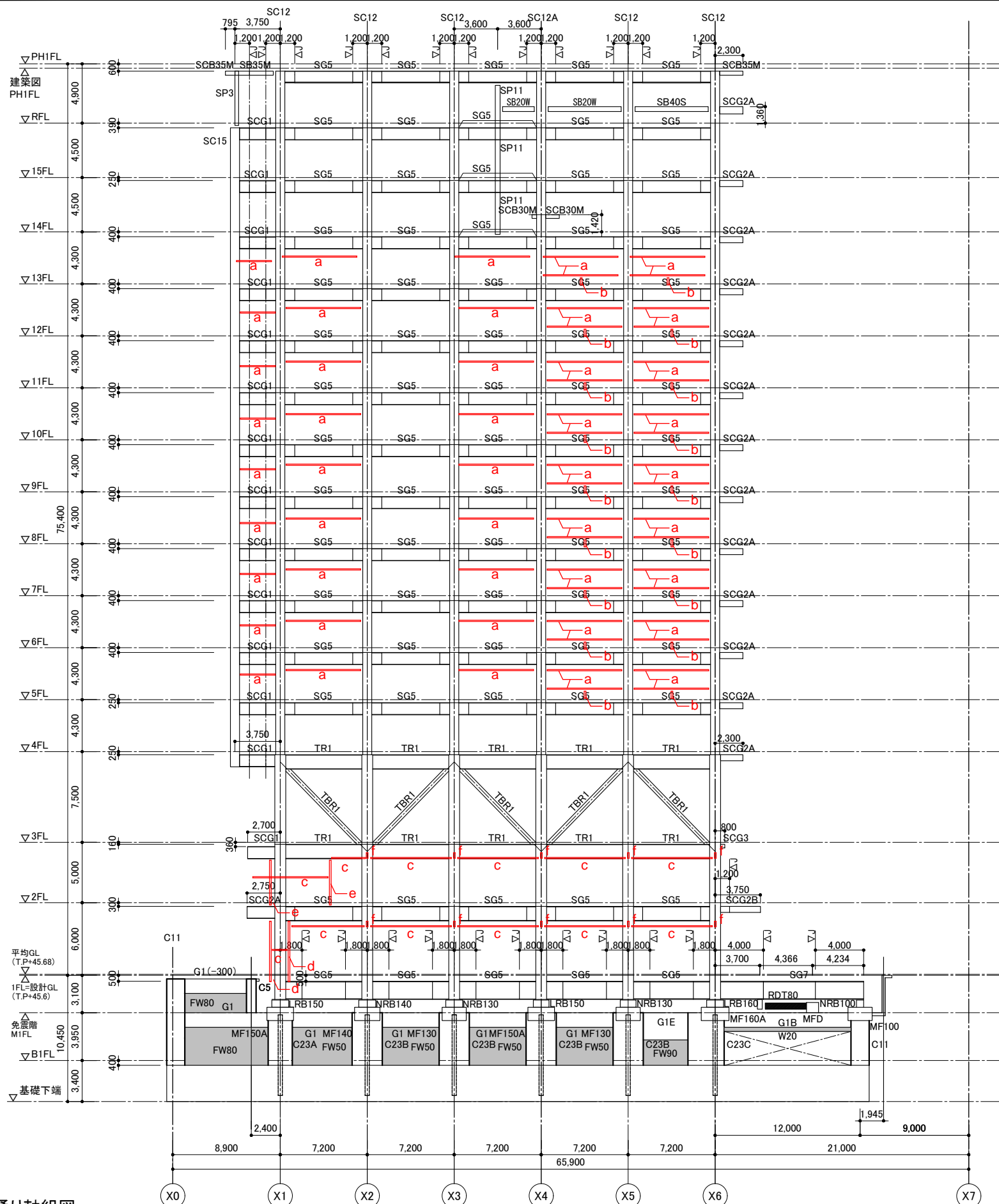
特記なき限り 1. 梁JOINTは柱芯から1,200とする。1,200を基準としてJOINT位置をブレース・小梁と干渉する場合は現場溶接もしくは監理者との協議の上、移動可能とする。
2. 柱のJoint位置鉄骨柱リスト(S-314, 315)による。



X9, X9+1400通り軸組図 1:200

特記なき限り 1. 梁JOINTは柱芯から1,200とする。1,200を基準としてJOINT位置をブレース・小梁と干渉する場合は現場溶接もしくは監理者との協議の上、移動可能とする。
2. 柱のJoint位置鉄骨柱リスト(S-314, 315)による。

特記事項	石本建築事務所・千葉学建築計画事務所設計共同企業体	仙台市都市整備局公共建築住宅部営繕課	件名 仙台市役所本庁舎	設計番号
	株式会社石本建築事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第793号 東京オフィス管理建築士 一級建築士 大臣登録 第341994号 中山 貴	設計年月日 令和5年7月6日	図面名称 軸組図-5	縮尺 A1:1/200 A3:1/400
				図面番号 S-205

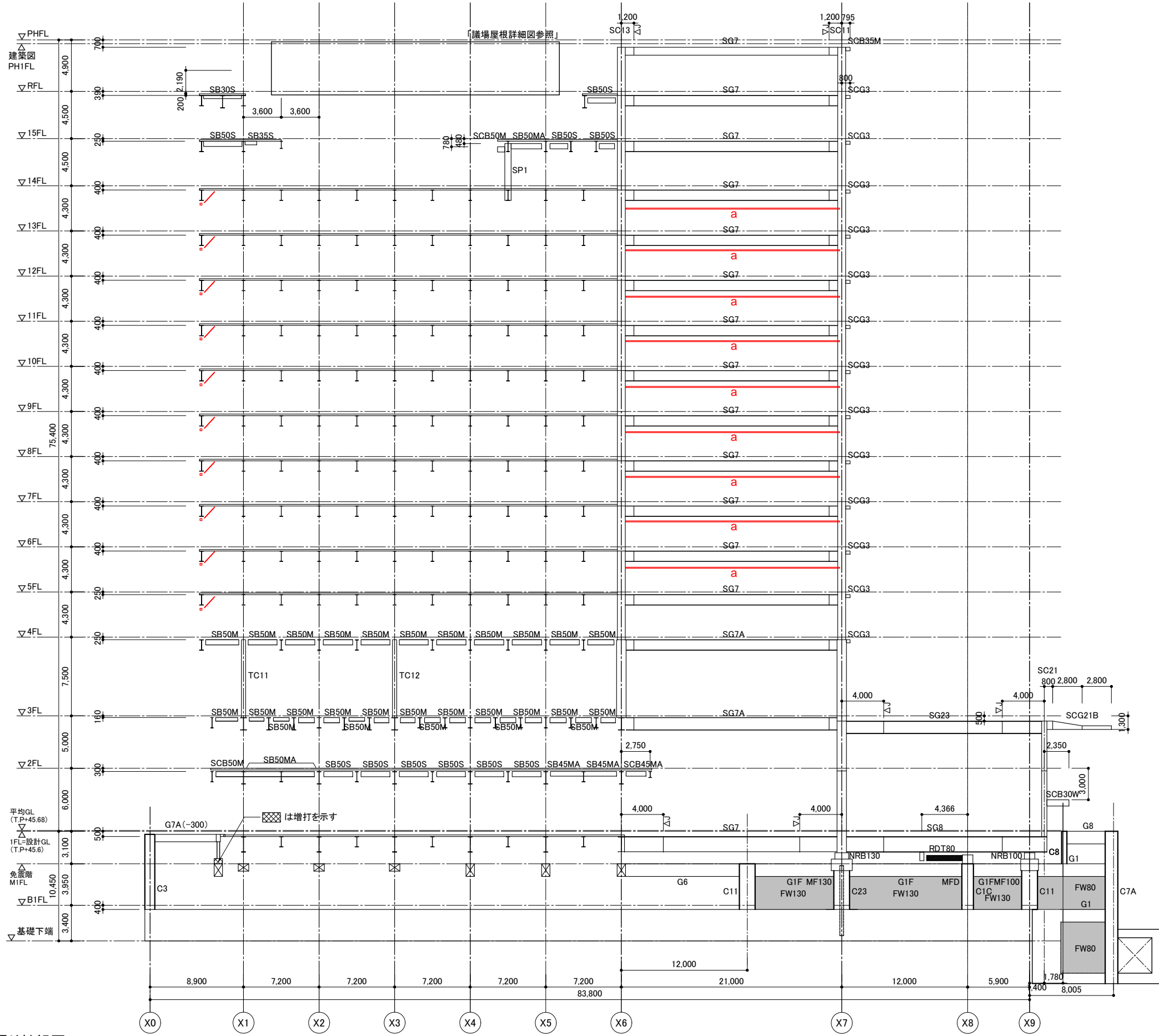


Y1通り軸組図

S=1:200

- 特記なき限り
1. 梁JOINTは柱芯から1,200とする。1,200を基準としてJOINT位置をブレース・小梁と干渉する場合は現場溶接もしくは監理者との協議の上、移動可能とする。
 2. 柱のJoint位置鉄骨柱リスト(S-314、315)による。

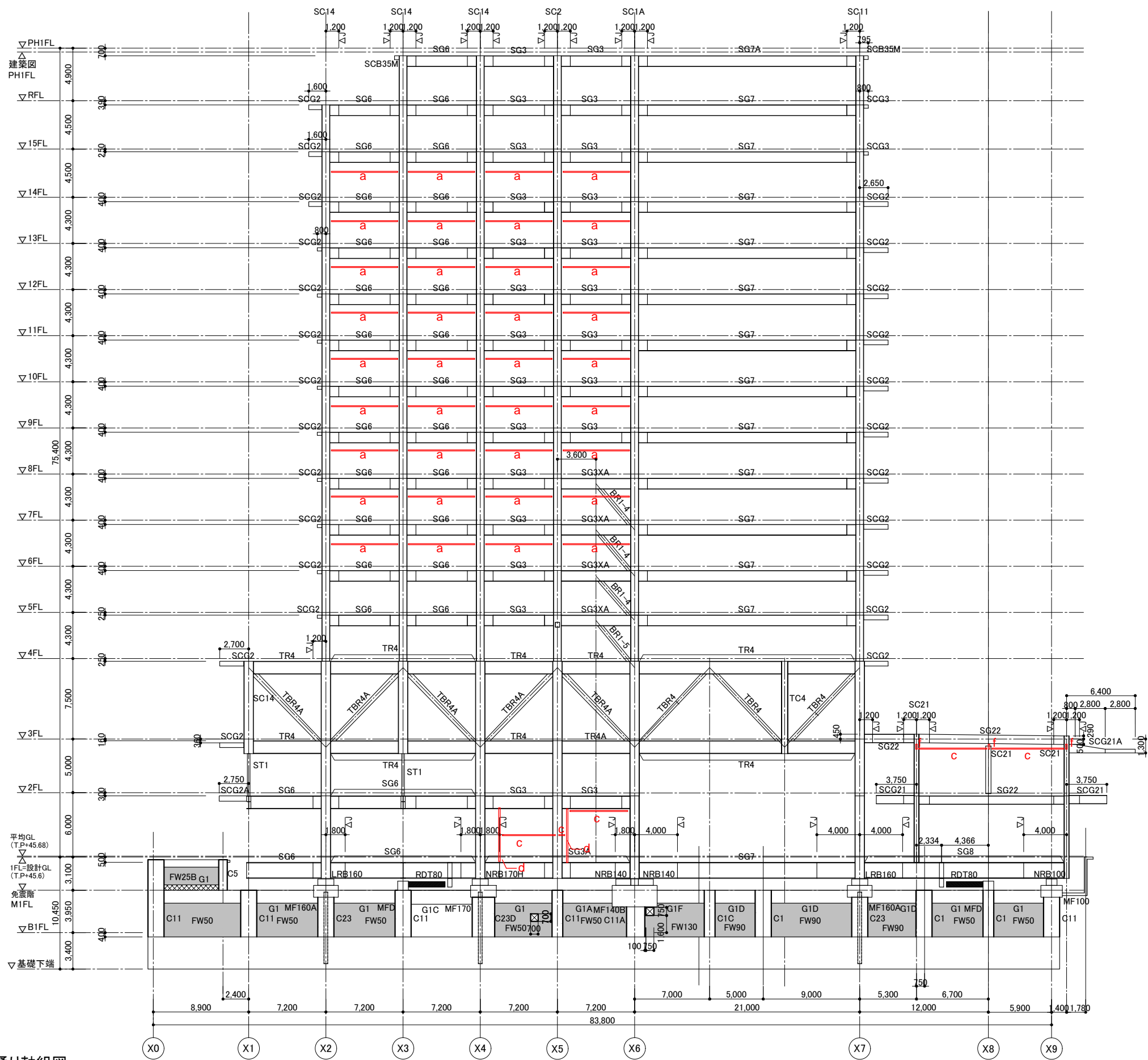
特記事項	石本建築事務所・千葉学建築計画事務所設計共同企業体	仙台市都市整備局公共建築住宅部営繕課	件名 仙台市役所本庁舎	設計番号
	株式会社石本建築事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第793号 東京オフィス管理建築士 一級建築士 大臣登録 第341994号 中山 貴	設計年月日 令和 5年 7月 6日	図面名称 軸組図-7	縮尺 A1:1/200 A3:1/400
				図面番号 S-207



Y2通り軸組図 S=1:200

特記なき限り 1. 梁JOINTは柱芯から1.200とする。1.200を基準としてJOINT位置をブレース・小梁と干渉する場合は現場溶接もしくは監理者との協議の上、移動可能とする。

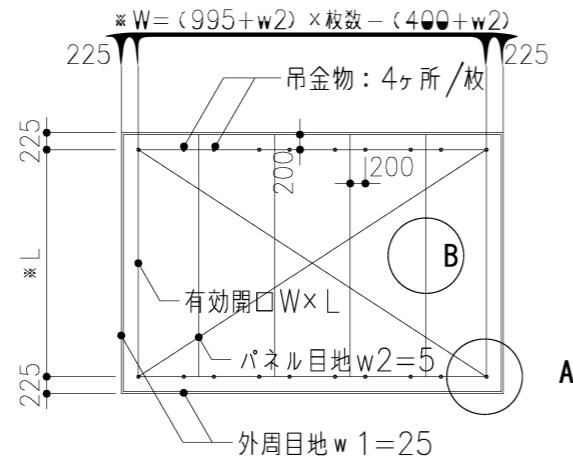
特記事項	石本建築事務所・千葉学建築計画事務所設計共同企業体	仙台市都市整備局公共建築住宅部営繕課	件名 仙台市役所本庁舎	設計番号 -
	株式会社石本建築事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第793号 東京オフィス管理建築士 一級建築士 大臣登録 第341994号 中山 貴	設計年月日 令和 5年 7月 6日	図面名称 軸組図-8	縮尺 A1:1/200 A3:1/400
				図面番号 S - 208



Y9通り軸組図 S=1:200

特記なき限り 1. 梁JOINTは柱芯から1,200とする。1,200を基準としてJOINT位置をブレース・小梁と干渉する場合は現場溶接もしくは監理者との協議の上、移動可能とする。
 2. 柱のJoint位置鉄骨柱リスト(S-314, 315)による。

特記事項	石本建築事務所・千葉学建築計画事務所設計共同企業体 株式会社石本建築事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第793号 東京オフィス管理建築士 一級建築士 大臣登録 第341994号 中山 貴	仙台市都市整備局公共建築住宅部管轄課 設計年月日 令和5年7月6日	件名 仙台市役所本庁舎 図面名称 軸組図-13	設計番号 縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 S-213
------	---	--------------------------------------	----------------------------	---------------------------------	------------



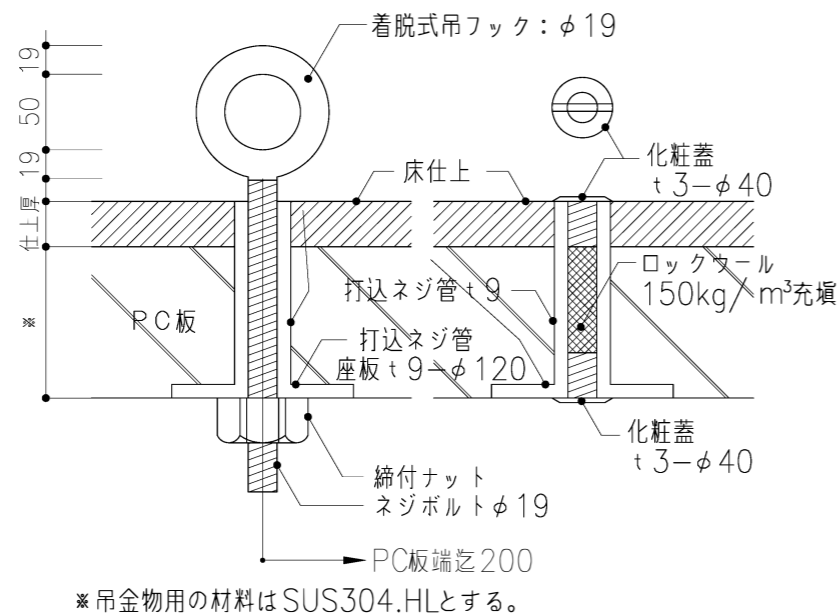
凡例: W=有効開口長さ(2600)
 L=有効開口巾(2000)
 w1=目地巾(外周25)
 w2=目地巾(一般5)

平面図 1/100

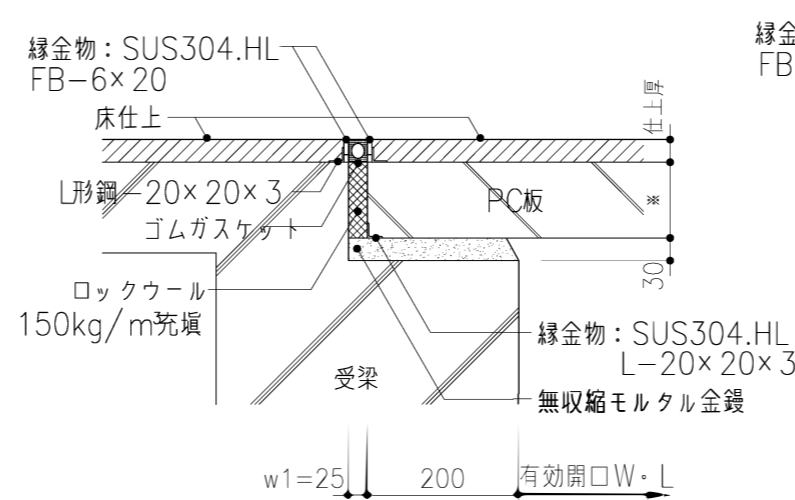
- ・許容荷重(車両通信用 $\geq 550\text{kg/m}^2$ 歩行専用 $\geq 300\text{kg/m}^2$)
- ・*スパン3mで $t=100$ の許容荷重 720 (自重 600) kg/m^2
- ・耐火性能(2時間 $t=120$ 又は $t=100$ + 吹付石綿 $t15$)
- ・特記ない鋼材類は溶融亜鉛メッキとする。又シーリングや所要性能等に関する仕様は特記仕様書による。
- ・ハッチ周辺の壁等に利用制限標識類(許容吊荷重, 寸法やハッチ使用及び落下防止, 復帰, 他の注意事項等)を設置する。
- ・PC板関連の金物類は原則としてコンクリート打込とする。

<パネル吊上時>

<平常時>

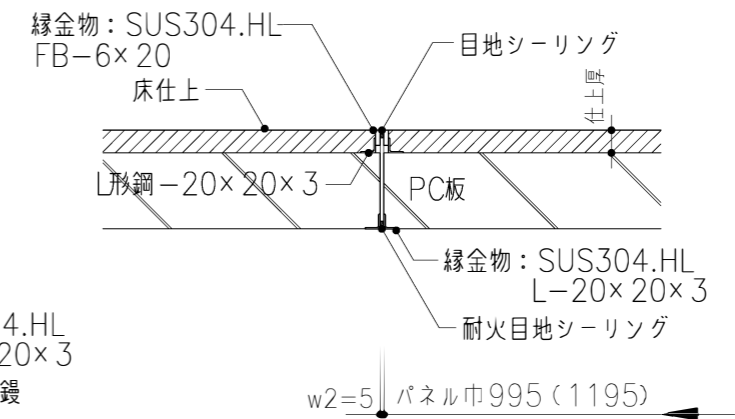


吊金物図 1/5



- (注) *印寸法は別図による。
 (注) 梁掛り寸法 ≥ 40 (RC.SRCは70) mm 且つスパン $\times 1/100$
 (注) 躯体逃げ寸法 ≥ 20 mm

A部詳細 1/10



B部詳細 1/10